

topics

立派な野菜達が
収穫出来ました

01

8月11日、相馬こども園に植えたトマトやキュウリ、カボチャ等の収穫が行われた。

園児らは大きな葉で隠れたカボチャを探したり、大きくなったジャガイモを抜く作業をとっても楽しそうに行っていた。中でも枝豆の収穫作業では一つ一つもぎ取ること、苦戦しながらも、実が大小ある事や一つの莢に2つや3つ入っている違いがある事に気付きながら、園児同士で楽しみながら取り組んでいた。



一生懸命枝豆をもぎ取る園児ら

topics

加工専用園の栽培に
知識深める

02

8月18日、相馬りんご支会連合会では、夏期研修として(有)白神アグリサービスにて加工専用園を視察した。

園地の管理を行っている木村才樹取締役は「21町歩程リンゴを作っているが機械でほとんどの作業を行う為、上手く作業は回っている」と話していた。

会員らは、「初めて見る加工専用園と、収穫機やリンゴを拾う機械を見ることが出来てとても刺激になった」と話していた。



大型作業機械の機能性に驚く会員ら

topics

今年最後の巡回講座開催

03

8月23日、今年最後である4回目の現地巡回講座が各地区で行われ、151人の生産者が参加した。

同講座には販売課が同行し、つがるときおの目揃いが行われ、生産者が気になる収穫適期を確認した。

販売課職員は、がくあ部まで着色が進む前に収穫する事やサビ果などの範囲までいいのか等を説明した。

本格的に始まる収穫作業を控え、生産者らはサンプルを見ながら目合わせを行っていた。



サンプルを確認し目揃いをする生産者ら

topics

より良い営農をする為に

04

8月30日、昴地区の今祐介さんの園地にて、GH農場評価研修が行われ、講師は全国農業協同組合中央会の高橋昭博さんが行った。

研修は、初めに今さんから農薬の使用方法や保管方法、廃棄方法などの聞き取りを行ない、その後現場を確認しながら改善方法を学んだ。

今さんは、「今普通にやっている事でも、整理整頓や配置換えを工夫する事で作業をスムーズに行う事が出来る。今日もらったアドバイスを基に見直していきたい」と話していた。



農薬を保管している状況を確認する今さん(右)と高橋講師



多くの乾燥中の土が並ぶ

これまで収穫後に実施していた土壌診断は、その結果を基に肥料の注文を行う事に時間の余裕がなかったとし、夏に診断を行う事とした。

近年、カルシウムや苦土などの欠乏症などが園地で確認されている事、より品質の良いものを生産したいという事から診断の受付は少しずつ増えており、8月末の時点で例年の半分以上が提出されている。今後も適期適正な施肥をする為、夏の土壌診断を普及していきたい。

topics

土壌診断の受付がピーク

05



多くの生産者が入庫に訪れた

管内ではつがるの収穫作業が最盛期を迎えている。

今年産からスタートした新たな着色目安の設定があったことから、それに準じた収穫基準で収穫するよう周知した事で、早出しサンツがるの出荷者が昨年比2倍以上となった。

入庫にきた生産者からは「今年から軟化する前にすべりもぎをすることにした」と鮮度を重視した意識が伺えた。

新しい着色目安は早生ふじ系まで適用される為、今後も適期収穫を周知していきたい。

topics

鮮度を重視した意識へ

06



県大会、東北、北海道ブロックで勝ち上がった佐久間さん

9月1日、令和3年度東北・北海道地区JA女性組織活動体験発表審査会がウエブ会議にて行われた。

この大会は7道県から各地区1人が参加し、当JAからは女性部理事の佐久間結華里さんが出場。

相馬小学校3年生を対象とした「りんご体験学習」が一度頓挫したが、地域コミュニティーの強化を図り、復活するまでを紹介した発表で、見事北海道・東北ブロックの代表となり、全国大会出場を決めた。

来年1月に全国大会が開催予定である。

topics

7道県代表で 全国大会出場

07

農作業事故には十分に気を付けましょう!!

農繁期に入ると、農作業事故が毎年多発します。

それは、毎日の農作業の中に大きな事故が潜んでいるからです。

例えば、梯子を使っただけの作業やスピードブレイヤからの転落事故、草刈り機での過信した運転による事故等様々ないつもの何気ない作業の中に事故の原因が潜んでいます。

また、携帯電話を持ち歩く事も事故が起こった時に早期対応の一つとして重要な役割をします。

事故が起きる原因の一瞬の誤りが、一生の後悔に繋がる可能性があります。

改めてもう一度、作業前に安全点検して楽しい農作業にしてください。